

# 進化する図書館を目指して 塩尻市立図書館の取り組み

2020年2月3日(月)

長崎県立図書館

塩尻市立図書館 上條 史生

はじめに 長野県塩尻市・塩尻市立図書館の紹介

・目指す都市像 「確かな暮らし未来につなぐ田園都市」

・出版人古田晁出生の地

・市民交流センターえんぱーく

基本コンセプト 「知恵の交流を通じた人づくりの場」

2010年7月29日開館

図書館を核とした複合施設 シニア活動、ビジネス、子育て、青少年交流、市民活動

・塩尻市立図書館 複合施設えんぱーくの核

「塩尻市立図書館サービス計画」

課題解決型の地域の拠点となりうる図書館

目指す図書館像

役立つ情報を提供する図書館

意欲と活動を応援する図書館

進化する図書館

## 1 塩尻市立図書館の概要

・本館 1971年開館、2度の移転を経て現地に2010年開館

・分館 8分館(小学校区ごと、支所に併設、8千冊~2万冊)

・新館整備

広丘分館 北部交流センター広丘図書館 2019.7開館

榎川分館 保健センター改修・移転 2019.10開館

## 2 基礎数値・利用状況

・蔵書数(2018年度末)

本館 40万2千冊(開架21万冊、閉架19万2千冊)

8分館計 9万5千冊(すべて開架)

このほかに 雑誌:4万5千冊、視聴覚資料:1万2千点

・年間貸出数(2018年度)

全館 70万5千冊

過去最高は2017年度の70万9千冊

個人貸出数 66万2千冊

団体貸出数 4万3千冊(小中学校・保育園・読み聞かせ団体など)

・市民一人当たりの貸出数 9.93(2018年度)

・利用者数 個人:13万6千人(うち本館:101,596人) 団体:3千件

・来館者数(本館)423,337人

### 3 塩尻市立図書館の予算

	H29 年度	H30 年度	R 元年度
図書館費	228,916 千円	244,541 千円	255,572 千円
図書費	27,840 千円	34,840 千円	30,060 千円
新聞雑誌費	5,508 千円	5,508 千円	5,849 千円
視聴覚資料費	2,160 千円	2,160 千円	1,940 千円
電算機器使用料	14,144 千円	17,116 千円	17,098 千円
人件費	159,451 千円	162,534 千円	177,519 千円
古田晁記念館経費	2,191 千円	2,173 千円	2,213 千円
その他経費	17,622 千円	20,210 千円	20,893 千円

### 4 塩尻市立図書館各指標の全国的な位置（人口 6 万人以上 8 万人未満の市区町村）

順位	蔵書数		資料費		貸出数		予約受付件数	
	自治体名	千冊	自治体名	万円	自治体名	千点	自治体名	件
1	袖ヶ浦市	668	須賀川市	5,343	笠間市	1,227	守谷市	216,358
2	白井市	551	白河市	4,199	守谷市	986	三木市	138,269
3	甲斐市	548	田原市	3,675	三木市	941	清瀬市	127,101
4	碧南市	538	守谷市	3,608	京田辺市	882	鶴ヶ島市	123,201
5	笠間市	533	塩尻市	3,485	鶴ヶ島市	769	笠間市	118,650
6	鶴ヶ島市	509	笠間市	3,483	多賀城市	763	塩尻市	85,273
7	塩尻市	481	みよし市	3,271	田原市	750	白井市	83,411
8	田原市	454	袖ヶ浦市	3,044	福津市	700	京田辺市	79,714
9	柳川市	454	名取市	2,939	白河市	674	甲斐市	78,518
10	たつの市	453	南相馬市	2,903	塩尻市	668	逗子市	78,384

出典：「図書館年鑑 2019」

### 5 本館の概要

- ・床面積 3,285 m<sup>2</sup>（地下 1 階：閉架書庫、1・2 階：開架）
- ・職員数 36 人（正規職員：5 人、嘱託員：20 人、臨時職員：11 人）
- ・収容能力 49.5 万冊（開架：26 万冊、閉架：23.5 万冊）
- ・検索機 10 台
- ・セルフ貸出機 4 台
- ・閲覧席 141 席
- ・データベース 8 契約

- ・貸出用 PC 13 台（無線 LAN）
- 6 資料との出会いの多い図書館
- ・排架 書架を高く設定（壁面開架書庫） 余裕を持った排架（表紙見せ）
  - ・混排 参考図書・文庫・新書・AV 資料、NDC を基本にしつつ利用者視点で排架
  - ・別置 ワイン・短歌・闘病記・緩和ケア・旅・仕事・児童文学・文学研究など
  - ・複本 一般書は原則複本を所蔵しない。ただし、予約件数が多い場合は追加で購入する。予約 15 件：2 冊目、35 件：3 冊目、55 件：4 冊目
  - ・テーマブックス 旬な話題や季節のテーマなどで積極的に設置
  - ・常設企画展示 様々な企画展示で関連資料との出会いを創出
- 7 進化する図書館
- ・図書館サービスの展開
    - 基本的なサービスの充実 魅力的な書架、フロアサービス、レファレンスサービス
    - 市民ニーズを把握し、柔軟なサービス改善と新たなサービスを生み出す
  - ・基本的なサービスの推進体制
    - 庶務係、奉仕係（子ども読書・一般）、資料係（子ども読書・一般）、企画・渉外・学校係、分館担当、図書館システム担当、棚担当
  - ・サービスを生み出す仕組み サービス推進チームの設置
    - 子育て応援、青少年交流、シニア活動支援、ビジネス支援、バリアフリー、進化する図書館、おはなしプレゼント
- 8 利用者満足度を満たす接遇
- ・ホスピタリティーとスピード感
    - 図書館はサービス業
    - 笑顔と対話
    - 利用者の時間を節約
    - 利用者の信頼感
    - 『ホテルに学ぶ図書館接遇』加納尚樹，青弓社，2018.7
- 9 積極的な情報発信
- ・図書館だより、こども図書館だより、WAKABA（ヤングアダルト情報紙）
  - ・Book Fan Newsletter 書店員と図書館員おすすめの本
  - ・ホームページ イベント情報、テーマブックスほか
  - ・FaceBook ほぼ毎日投稿
  - ・パブリシティ 新聞記事掲載回数 2018 年度：224 回
- 10 重点事業 信州しおじり本の寺子屋
- テーマ「本の可能性を考える」
- ・著者、出版社、書店、図書館が連携し、市民と共に本の魅力を考え発信し、出版文化の未来に寄与する。
  - ・図書館が力をつけて、市民の役に立つ図書館として進化する。

- ・地方発の文化の創造と発信に挑戦する。

(1) 本の寺子屋の誕生とキーパーソン

- ・図書館長 内野 安彦 (2007-2011) 伊東 直登 (2012-2015)
- ・編集者 長田 洋一 (河出書房新社『文藝』元編集長、安曇野市在住)
- ・原型：「本の学校」 鳥取県米子市今井書店グループ
- ・顧問 (開校当時)  
辻井 喬 (詩人・小説家) 永井 伸和 (NP 本の学校理事長) 熊沢 敏之 (筑摩書房社長)  
常世田 良 (日本図書館協会理事)  
敬称略、肩書は 2011 年 (事業企画段階) 当時のもの

(2) 講演会・講座

- ・本を世に送り出している人たちの講演会  
小説家、ノンフィクション作家、歌人、俳人、詩人、絵本作家、評論家、出版人、書店主、ジャーナリスト、写真家など
- 表 本の寺子屋の講師・参加者数

年度	講師等 (敬称略)	参加者数 (回数)
2012	佐高信、遊佐幸枝、さいとうしのぶ、中山玲子、根本彰、色川大吉、小林隆志、藤原成一、谷川俊太郎、大井むつみ、秋本敏	1,121 人 (15 回)
2013	松本健一、森一郎、福島泰樹、いせひでこ、斎藤誠一、常世田良、熊沢敏之、広瀬恒子、柳田邦男、竹内利明、池内紀、杉山亮	1,055 人 (15 回)
2014	島田雅彦、高橋源一郎、くすのきしげのり、松井祐輔、酒井潤一、五十嵐絹子、井出孫六、嶋田学、塩澤実信、姜尚中、小嵐九八郎、斎藤真爾、宮田政幸、小林毅、酒井倫子	880 人 (15 回)
2015	赤木かん子、鎌田慧、吉岡忍、上野千鶴子、大下英治、藤田利江、大西暢夫、渡部幹雄、永江朗、小池昌代、正津勉、星野涉、くすのきしげのり	936 人 (13 回)
2016	高橋龍介、水原紫苑、山口泉、植田康夫、中山美由紀、中沢けい、窪島誠一郎、川鍋雅則、三島利徳、柏原成光、村上しいこ、間村俊一、荒川洋治、豊田高広	775 人 (14 回)
2017	高峰武、河谷史夫、内野安彦、斎藤美奈子、田中欣一、長野まゆみ、小林浩、佐野真一、橋口侯之介、とよたかずひこ、持田鋼一郎、小幡章子、酒井京子、原田真人、田下昌志、丸山潔、藤岡牧夫、大西暢夫	1,239 人 (16 回)
2018	高橋伴明、横松美千繪、久間十義、大空真弓、佐藤直子、丸山光枝、田揚江里、澤宮優、小寺卓矢、井出彰、高橋佑磨、金原瑞人、サクラ・ヒロ、山本克俊、石井もと子、窪田雅之、中澤雄大、古厩智之、鶴と亀、イルフ童画館、ナショナルジオグラフィック	1,123 人 (16 回)

2019	三田誠広、富士眞奈美、外岡秀俊、島田英昭、清水眞砂子、降矢なな、鎌田實、藤沢周、和田登、角野栄子、錦見映理子、東直子、鶴飼哲夫、穂村弘、堀井正子、櫻井寛、香川元太郎、藪内正幸	1,400人を超えて過去最高
------	---	----------------

(3) 企画展

- ・本に関わる多様な展示とギャラリートーク  
出版社、装丁家、製本所、美術館、文学館、写真家、絵本作家など  
絵本「いないいないばあ」誕生 50 周年記念展，童心社  
「暮しの手帖」創刊 70 周年特別企画展，暮しの手帖社  
武井武雄展～ラムラム王が峠を越えてやってくる～，イルフ童画館  
装丁の世界，美篤堂（製本所）など

(4) 書籍販売・サイン会 本との格別な出会いの場の創出

- ・地元書店との連携による書籍の販売
- ・講師によるサイン会

(5) 新たな切り口

- ・地域文化サロン 塩尻の文化に光を当てる  
「塩尻が生んだ不世出の詩人 島崎光正の世界」  
「出版人・中野幹隆と哲学書房の魅力」  
「信州の昆虫食が世界を救う」など
- ・映画館との連携 「東座」タイアップ企画  
「司馬遼太郎『関ヶ原』の映画化が夢だった」 原田真人監督  
「原作と向き合う」 古厩智之監督（塩尻市出身） など

(6) 書籍の刊行

- 『「本の寺子屋」が地方を創る 塩尻市立図書館の挑戦』  
「信州しおじり本の寺子屋」研究会・著，2016.5，東洋出版

“「本」の可能性を考えたい”をテーマに掲げる図書館員と、その言葉を信じる市民、本をめぐる人々の物語。

**未来はここから開かれる**

長野県中央に位置する人口6万7千人の小都市。  
ここには、多くの小説家、評論家、詩人、歌人、俳人たちが訪れる。  
その理由とは？

(同書 本の帯から引用)

11 子ども本の寺子屋

- テーマ 「本の可能性を子どもたちと考える」
- 目指せ！図書館マスター 本を知り図書館を知る
- ワークショップ 絵本づくり、POPづくりなど

本ができるまでツアー 印刷会社、製本所  
ファミリーコンサート おはなしの世界を音楽とともに楽しむ

## 12 そのほかの取り組み

- ・ Book Fan Note 読書手帳
- ・ 本の帯コンテスト「あなたがデザインした本の帯が本屋さんに並ぶかもしれない」
- ・ 贈り帯 絵本専門士がお薦めする素敵な贈り物
- ・ Re: Public 公共とは？ 映画「ニューヨーク公共図書館」映画鑑賞・トーク企画
- ・ 静かじゃない図書館「ライブラリーコンサート」「We Love赤ちゃんプロジェクト」
- ・ しおり部 Shio-Lib 高校生・大学生による図書館ボランティア

## 13 評価

- ・ Library of the Year 2015 優秀賞  
人口6万6000名の町でありながら、開館5年で累計来場者300万名を達成していることは、地方の小都市においては異例の成果であり評価できる。単なる図書館単独施設ではなく、一体的な組織運営も含め塩尻を中心とした周辺地域の市民交流機能をあわせ持っていることは、これからの時代の地方都市における文化施設のあり方を端的に示している。
- ・ 地方創生レファレンス大賞 2017・2018 連続受賞  
2017（審査会特別賞）ビジネス情報相談会  
2018（奨励賞） 新・山岳展@上高地インフォメーションセンター  
2019（落選） 丘中学校3年2組「身近な地域から学ぶ 戦争とは平和とは」

## 14 新たな拠点 「北部交流センターえんてらす 広丘図書館」

- ・ 2019年7月開館
- ・ えんぱーくの実績を生かした複合施設  
広丘支所、広丘公民館、北部子育て支援センター、広丘図書館
- ・ 広丘図書館の概要  
床面積 288㎡（図書室、フリースペース、事務室）  
職員数 9人（正規職員：1人、嘱託員：3人、臨時職員：5人）  
収容能力 3万5千冊（開架のみ）  
蔵書数 2万7千冊  
開館時間 平日 9:30～19:00、土日祝 9:30～18:00  
休館日 月曜日  
貸出数 86,163冊（7月～12月）

おわりに 塩尻市立図書館が大切にしている言葉

「・・・このパルプ飢饉のさなかに、敢て出版事業を企てる私にとって、かの太古の哲人たちが、木を切り（ママ）竹を割き、一字一字を彫りつけて、正しい知識と情熱とを世に広めたことに思ひをいたすことは、おのづから私をして決意せしむるものがあります。・・・」

昭和15年1月1日 筑摩書房 古田 晁